

- 問1 サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料の利用が、地球温暖化の抑制に寄与するとされている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 植物を原料とすることで、燃焼時に二酸化炭素を吸収して酸素を放出する化学反応が起きるため | 2. バイオ燃料は燃焼させても二酸化炭素や排気ガスを一切排出しない性質を持っているため。 | 3. 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。 | 4. 石油などの枯渇性資源と比べて製造コストが極めて低く、経済活動を停止させる必要がないため。 |
|--|--|---|---|
- 問2 南半球に位置するケープタウンでは、北半球とは季節が逆転するため、7月頃に気温が低く1月頃に高くなります。また、夏季にあたる1月前後は乾燥して降水量が少なく、冬季にあたる6月から8月頃に降水量が多くなるという特徴があります。このような、夏に乾燥し冬に雨が降る特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|
| 1. サバナ気候 | 2. 西岸海洋性気候 | 3. 地中海性気候 | 4. 温暖湿潤気候 |
|----------|------------|-----------|-----------|
- 問3 日本の山形市（北緯約38度）よりも高緯度に位置するヨーロッパの都市において、冬の気温が同緯度の他の地域に比べて下がりすぎず、比較的温暖に保たれる主な要因を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 低緯度側から流れてくる暖流の影響を受け、その上空で温められた空気が偏西風によって陸地へ運ばれるため。 | 2. 赤道付近で発生した上昇気流が、熱帯収束帯から高緯度へ向かって高温多湿な空気を直接送り届けるため。 | 3. 内陸部の広大な砂漠地帯で熱せられた乾燥した空気が、季節風によって沿岸部へと絶えず供給されるため | 4. 高緯度から南下してくる寒流が、偏西風によって陸地から吹き抜ける冷たい空気を遮断する壁の役割を果たすため。 |
|---|---|--|---|
- 問4 世界の農作物の生産と輸出に関する統計から読み取れる特徴について、適切な説明はどれですか。なお、対象とする作物の一方は「アメリカ合衆国が生産量の3割超、輸出量の約4割を占める作物」であり、もう一方は「中国が生産量1位だが、ロシアが輸出量1位である作物（小麦）」であるものとします。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 小麦の輸出量でロシアが首位なのは、ロシアの生産量が中国やインドを大きく上回っているからである。 | 2. とうもろこしは、アメリカ合衆国が生産・輸出ともに大きなシェアを持っており、主に主食としてアジアへ輸出される。 | 3. 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。 | 4. ブラジルは、小麦とうもろこしの両方において、世界最大の生産量と輸出量を誇っている。 |
|--|---|--|--|
- 問5 各国の観光収入と観光支出の差を示す「観光収支」や、観光客の動向について述べた文として、正しいものを次のうちから選んでください。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. フランスは、豊かな文化遺産などを背景に世界最多の外国人観光客数を記録する観光大国である。 | 2. アメリカ合衆国は、観光支出額が世界最大であるが、観光収入が極めて少ないため観光収支は赤字である。 | 3. ドイツは、国民の休暇制度が充実しているため観光収入が世界一多く、観光支出はほとんど見られない。 | 4. 日本は、訪日外国人客数が増加した2010年代半ば以降も、一貫して観光収支の赤字が拡大し続けている。 |
|---|---|--|--|
- 問6 夏季の気温が高くなる時期に降水量が極端に少なく、乾燥する一方で、冬季に一定の降水が見られるという特徴を持つ気候区があります。この気候条件を活かして盛んに行われている農業の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 夏季の豊富な降水と高温を利用した、大規模な稲作が行われている | 2. 夏季が短く気温も低いため、針葉樹の伐採を中心とした林業が行われている | 3. 夏季の乾燥に強いブドウやオリーブ、柑橘類などの果樹栽培が行われている | 4. 一年を通して降水量が少ないため、わずかな草を求めて移動する遊牧が行われている |
|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問7 イギリスのロンドンなどに見られる気候において、年間の気温と降水量の推移を示した資料の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 月ごとの降水量が年間を通じて安定しており、最暖月の気温が20度前後、最寒月の気温が5度以上である。 | 2. 夏と冬の気温差が非常に大きく、冬の降水量は夏に比べて極端に少なくなる。 | 3. 夏季に降水量が極端に少なく乾燥し、オリーブやブドウの栽培に適した気候である。 | 4. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、降水量のグラフが常に高い水準にある。 |
|--|--|---|---|
- 問8 年間を通して気温が高く降水量も多い熱帯地域において、石けんやマーガリンの原料となるパーム油を採取するために、広大な敷地で単一の作物を大規模に栽培する農園農業を何といいますか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|----------------|-----------------|
| 1. 油ヤシのプランテーション | 2. サトウキビのプランテーション | 3. 綿花のプランテーション | 4. カカオのプランテーション |
|-----------------|-------------------|----------------|-----------------|
- 問9 世界の諸地域の気候帯について、ある大陸の面積構成比を調べると、乾燥帯が約46.7%、熱帯が約38.6%となっている。この統計が示す大陸として、最も適切な名称を次から選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 1. 南アメリカ大陸 | 2. アフリカ大陸 | 3. 北アメリカ大陸 | 4. ユーラシア大陸 |
|------------|-----------|------------|------------|
- 問10 国連の世界食糧計画（WFP）などが行っている「学校給食プログラム」の目的として、その背景にある開発途上国の課題と解決策の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 特定の作物しか作れないモノカルチャー経済という課題に対し、学校で多様な作物の栽培方法を普及させる。 | 2. 家計を助けるために働く子どもが多いという課題に対し、学校で食事を提供することで教育を受ける機会を確保する。 | 3. 農業の機械化が遅れているという課題に対し、学校に最新の農機具を導入して子どもの労働負担を軽減する。 | 4. 都市部への人口集中という課題に対し、地方の学校の給食を豪華にすることで農村への移住を促進する。 |
|--|--|--|--|
- 問11 アラビア半島周辺や、サハラ砂漠周辺に位置するトンブクトゥといった都市を含む地域において、歴史的に共通して広く信仰されている宗教の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドウ教 | 3. キリスト教 | 4. ユダヤ教 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問12 インド洋周辺の地域では、夏と冬で吹く方向が逆転する風を利用した航海が古くから行われてきました。この風の名称と、航海における利用方法について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. モンスーン（季節風）と呼ばれ、特定の時期に目的地へ向かう追い風として利用された。 | 2. ハリケーンと呼ばれ、強い上昇気流による推進力を利用して短期間で移動するために利用された。 | 3. 貿易風と呼ばれ、赤道付近で常に東から吹く風を利用して、インドからアフリカへ短期間で往復した。 | 4. 偏西風と呼ばれ、一年を通じて一定の方向に吹く風を利用して、アフリカから東向きに航行した。 |
|---|---|---|---|